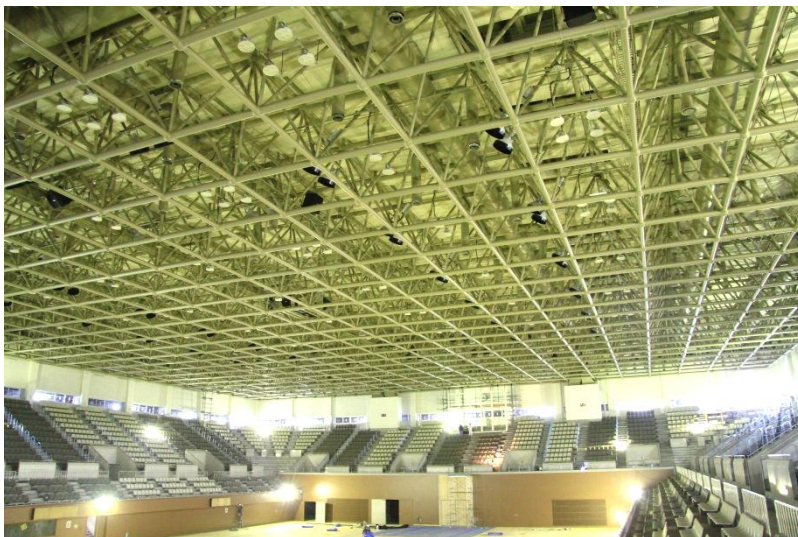


府立体育館のリニューアル工事 改修状況（平成 25 年 2 月）

府立体育館リニューアル工事 改修状況 第4弾、2月の様子をお伝えします。

2月8日（金）の第1競技場の様子です。天井に吊り下げてあった足場が全て取り外され、照明器具が見えています。今回の改修で天井照明はLEDが使用され1200ルクスの照度が確保されます。また、黒い筒に囲まれているのはメタルハライドランプで、国際的な試合等でのTV中継にも対応させるため、センターコートに1500ルクス以上の照度にするともにより自然光に近い状態に施されています。



2月18日（月）の第1競技場です。床面にフローリング材が敷き詰められ、その表面を研磨しているところです。研磨用の小さな乗り物を操作されている作業員の方が真剣な眼差しで丁寧に作業されている姿を見ているとさすがだなと感じました。なんと言っても体育館の命となる床の仕上げ作業ですから。



2月1日（金）の第2競技場で、フローリング材を敷き詰める作業がされていました。下地の合板に接着剤を塗り、その上に板が並べられるのですが、フローリング材は凸の辺と凹の辺があり、それをぴったりと合わせ、凸の出っ張りの部分に斜め方向に釘を打ち付けます。次の板の凹の部分で釘が覆われることとなります。今回のフローリング材の板目は、前回の板目と違い、つなぎ目の部分が分からない状態でした。



2月8日(金)の第2競技場です。敷き詰められたフローリング材を丁寧に研磨し、ウレタン樹脂を塗っては磨き、塗っては磨くという作業を繰り返したその表面に、コートライン用のマスキングテープが貼られていました。テープとテープの間に色塗料が塗られます。皆さんがラインテープを貼られるときに間違われないう、特に他競技のラインが被さっている所は、どのように表現すればよいか考えながらの作業でした。



2月18日(月)の1階入口の様子です。左の扉を入ると第1競技場に、正面の扉を真っ直ぐ進むと第2競技場となります。ここは、「パブリックビューイングスペース」と呼ばれ、モニターなどが配置され皆さんの憩いの場所となるとのことでした。



次の写真は、第1競技場西側廊下の様子です。全て解体されたトイレも、ようやく外観が見えてきました。写真では手前の階段の奥側に見えるのがトイレとなりますが、以前と比較するとトイレのスペースが少し大きくなっています。「多目的トイレ」が増設されるとのことでした。



下の写真は、管理棟つまり事務室のある棟の地下部分にある機械室と電気室の様子です。中にあった機械等は解体・撤去され、新たな設備が配置されます。今回の改修工事では、皆さんには御覧になれない場所も沢山ありました。今回の報告は、以上です。

